

令和8年度練馬区立幼稚園検討委員会（第1回）の要点

日	時	令和8年6月30日（火）	
時	間	18時30分から19時30分	
場	所	練馬区役所本庁舎12階 教育委員会室	
出	席	者	学識経験者、区立幼稚園 利用保護者、練馬区私立 幼稚園協会、区立幼稚園 長、区職員

開会

- 1 今後の区立幼稚園の方向性に関する資料について
- 2 区民意見の聴取に関する資料について

【委員からの主な意見】

- ・ 資料3のアンケートのスライドについて、丁寧なアンケートをしていることから、対象、回収人数や回答率を明示した方が根拠資料としてよい。
- ・ 8月の説明会は、いわゆるパブリックコメントによるものになるのか。
- ・ （事務局）8月の説明会については区報や近隣施設での周知をし、対象は限定しない。そういった意味ではパブリックな形での説明になる。
- ・ パブリックに公開する資料だとすると、公立幼稚園は障害児を専門に見ている施設だと捉えられかねないと感じる。内容の方向性自体は何ら誤りもないが、前段知識がない方が見た場合、「公立幼稚園は障害児が多い施設であり、定型発達の子どもにとっては縁遠い施設なのではないか」と受け取ってしまう可能性がある。そうすると、区立幼稚園の今後のあり方に関する施策の目的から離れてしまうのではないか。
- ・ 8月の説明会には、一般の方を制限するつもりはないが、区立幼稚園に関心を持つ方が集まることが想定される。今後の方向性として、公立幼稚園ならではの特色を示していくとすると、障害児への支援体制についても発信していく必要があると考えている。
- ・ （事務局）区立幼稚園は、障害児の在籍率が高く、職員の専門性も非常に高い。介助員の配置という点も、特色として考えられる。一方で、障害の有無に関わらず全ての幼児に対する教育活動という観点も、もちろん重要と考えている。
- ・ 障害に対する専門性があるということは非常に大切なこと。ただ、区立園に興味関心がある方以外は、数字のインパクトはやはり強いものがあるのではないか。「障害児の積極

的な受入れを行っている」、「私立園と比べても障害児の割合が高い」ということを表現する程度でもよいのではないかと感じる。

- 最初にこの資料を見たとき、障害児が前面に出ていると感じた。
全乳幼児に対し“はじめの 100 か月の育ちビジョン”の中で「切れ目のない育ちを支えてきます」というところに位置づける。または、子どもの権利、尊厳を保障していく観点から、医療的ケアが必要な子も障害がある子も特別なケアは必要ではない子も、育ちを支えていくという観点から全ての子に対して「個別に高いスキルをもって支援していくことができる」というのが公立幼稚園の考え方なのではないか。
- 資料上「障害児」の表記がふさわしいかどうかは疑問がある。療育等に通っているお子さんについても個人差があり、保護者の方の感じ方も個人差がある。「個別に支援が必要な幼児」や「配慮が必要な幼児」等の表現がよいのではないか。
- 資料3のスライドの8。3園から2園に集約していくというところのスライドに「職員の経験・ノウハウの早期共有」とある。一方、次のページの幼小連携の記載では「区立園の連携ノウハウの共有・提供を行う」という記載がある。前者の「早期共有」は、誰と誰の共有か。また、後者の共有とはどう違うのか。
- （事務局）前者の「早期共有」は各園に配置されている職員間の経験やノウハウの共有を想定している。現在、区立3園にそれぞれ介助員が配置されているが、この介助員の資質の向上が重要。3園にそれぞれ少数の介助員が配置されているよりも、2園に集約して1園当たり一定数の介助員を配置した上で研修体制等を新たに検討することで、経験やノウハウの共有が早期に行えると考えている。
後者の「共有」は、区立園が幼小連携を主導するためのモデルケースとなり、その経験やノウハウを他施設に共有していく想定。もともとある共有をさらに早期にというよりも、共有の体制を確かなものとして構築していきたいという趣旨。
- 該当のスライドはアピールポイントになる部分だと思う。一般の方に分かるような文章のほうがよいと思う。
- 資料3のアンケートに関するスライドで、赤字部分とそれ以外の部分の理由は何か。伝えたい内容を赤字としてしまうと、恣意的な表現と受け取られる可能性があるのではないか。
- （事務局）考え方を整理した上で修正する。
- 資料3の「今後の方向性」と4の「今後の区立幼稚園のあり方に関する施策」について、項目が同じだが順序が異なる部分が散見される。統一すべきではないか。
- 記載順序は①3年保育の実施、②長期休業中の一時預かりの実施、③園の集約で統一していく。

- 頂いたご意見を踏まえて修正した上で、スケジュールに沿って進んでいく想定。
- 長期休業中の預かり保育や3年保育について、大事にすべきは利用される保護者のニーズの優先順位と幼稚園側の実施に当たってのタイムスケジュールだと思う。

本園は長時間の預かり保育をしているが、18時40分に園が終わって、そこでご飯を食べて、風呂に入って寝るだけという日々が、果たして幼児期に本当に正しい生活環境なのだろうかと感じる。以前検討会で、元保護者の方が区立幼稚園のよさをお話しされていたが、そのような時間が取り戻せるのなら取り戻してほしいと思う。就労しなければならない世帯の長期休業中の預かり保育の必要性や発達障害の子どもを抱える親が夏休みにふっと一息つけるような時間のための預かり保育は絶対に必要だと思うが、子どもがふっと一息つけて、親のそばで安全に、時間の制約もなく過ごせる時間というのが大事だと思う。そのようなことを考えることも大事なのではないかと思う。